

目次

近代日本高等教育制度史における二松学舎	神立春樹	一
大英博物館所蔵の敦煌発見「父母恩重経变相画」(八画 _英 Ⅴ)について	新井慧誉	三三
陶淵明の分身化(二)	大地武雄	四七
西田幾多郎の科学観と日本の近代	三島正明	五七
(犠牲)という様式美	関野美穂	九五
——高橋たか子の表現様式について——		
「斧の柄」のアイヌ語	成田修一	一〇七
△研究補助報告▽			
柳亭種彦と西鶴	竹野静雄	一二五
——西鶴受容史の総合的研究の内——		
日韓文学関連研究	呉英元	一五七
——一九一〇年代の川路柳紅と朱耀翰——		
張承志が求めたもの	武永尚子	二二八

ユダヤ・キリスト教と日本	本多峰子	二四四
--------------	-------	------	-----

× × ×

△講演▽

こんなふうには、小説を書いてきた	志賀 泉	二四五
——私が二松学舎で学んだこと——			

陽明学に学ぶ『小信を重んじる』生き方	林田明大	二五七
--------------------	-------	------	-----

△彙報▽

二〇〇四年度研究所報告		二七五
-------------	-------	--	-----

編集後記